


○久慈市 各部重点目標 ～部長マニフェスト～

総務部長 久慈 清悦	【総務部長コメント】 総務部は、人事・組織管理、法規、予算編成、財産管理、市税等の賦課徴収、災害対策、消防団事務などを主な業務としています。
	① 職員の能力を引き出し、効率的・効果的な職務の遂行に資するために、各種研修への積極的な受講を促進するとともに、組織の効率化と適切な人事配置により、質の高いサービスが提供できる職場環境を目指します。 ② 予算編成にあたっては、主な収入源の交付税の削減も予想されることから、市、各種団体、市民等の役割分担や費用分担の適正化を推進し、有利な財源の確保に努めながら、市の収入に合わせた予算編成に努めます。 ③ 津波避難訓練や防災講演会等の実施により市民の防災意識の高揚を図ります。また、防災行政無線難聴世帯の解消に取り組むとともに、既存のシステムの中で市民自らが災害情報を取得するよう推進します。

○平成 31 年度に取り組む重点目標

No.	テーマ	テーマ（事業等）の内容	テーマ（事業等）の目標
1	職場環境の整備と人材育成	行政需要に対応した組織及び人事体制の構築を図るとともに、働き方改革に基づき長時間労働の縮減等に努め、ワーク・ライフバランスの取れた職場環境の実現に努めます。また、人材育成のため、職員研修への積極的な受講促進、充実等に取り組めます。	人事評価制度に基づく全庁的な評価と管理職ヒアリング実施（100%） 計画的な有給休暇の取得を推進 （1人当たり年次休暇平均取得日数 10.3日⇒11.3日） （年次休暇取得日数5日未満の職員数 63人⇒30人） 超過勤務時間の縮減 （1人当たり年間超過勤務時間 151h⇒135h）
2	財政健全化への取り組み	市税等の自主財源の確保に努めるとともに、事務事業の選択と集中を図り、財源の適正配分により適正規模の予算を編成します。	市税等の収納率の向上（現年分収納率 0.2%増） H32 当初予算の一般財源の縮減 （対前年一般財源 △5.0%） 市債プライマリーバランスの黒字化
3	市民の防災意識の醸成と防災行政無線の難聴対策	避難訓練や自主防災組織支援等により市民の防災意識を高める活動を実施するとともに、防災情報を確実に伝達するため難聴対策に取り組めます。	自主防災組織の新規結成（5団体） 防災行政無線難聴世帯の縮減（△10.0%） 防災メールマガジン登録者数（1,914件⇒2,100件） 消防団員充足率の向上（90.3⇒92.6%）（4/1現在）